

いまもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司後援会
発行元：座間市相模が丘3-24-2-203

おぎはら健司の市政レポート

『座間市議会改革』が 進まない理由を考える

現在、座間市議会では「議会改革」についての議論が活発に行われています。しかし、改革に向けた議論が過去から交わされているにもかかわらず、理想論ばかりで改革は全く進んでいないというのが私の率直な感想です。

原因を私なりに分析をした結果「議会運営委員会(議運)」に於ける結論の導き出し方に問題があるとの思いに至りました。

議会の運営については各党派から代表で選出される議運のメンバーが、議会の日程や、質疑・質問の順番、市民や議員から提出された陳情や請願、議案や意見書についての取り扱い方法など、議会運営に関する全ての案件についても協議する他、議会運営の見直しに関する事案も協議されますが、例えば質問時間の見直しや質問方法の検討、時代に即した議会への改革など、それぞれの思惑がぶつかり合い意見が分かれる場合が多くあります。

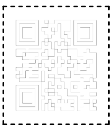
その際、通常で考えれば「民主主義的解決」つまり多数決で決めるべきなのですが、そうすると、あるベテラン議員からは『座間市議会の議運は過去の慣習では全会一致が原則』という主張の一点張りで全く物事が前に進みません。

そのために、議会改革特別委員会が設置されたわけですが、その委員会でも「全会一致の原則」に固執し採決を渋るから何も決まらないのは当然のこと。

ですから、私はこれらの慣習を改革する事こそ慣用と考え、議運や議会改革特別委員会でも多数決を実施出来るよう「決められる議会」へと改革してまいります。

同時に、皆さんが希望する「あらまほしき議会像」についても、ご意見を伺わせて頂ければ幸いです。

ご意見は電話やファックス、メール(右のQRコード)にてお寄せ頂ければ幸いです！



病院誘致に一步前進！

いよいよ、5月31日から平成25年第二回定例会が開会します。例年、第二回定例会は議案も少なく注目も薄い議会と言われております。

しかし、今回の定例会には、4月に説明会が実施され、現在公募が行われている総合病院誘致に関する選考委員会設置についての条例が提出されており、米軍返還地に建設予定の総合病院誘致実現に向け大きな前進が期待されております。

窮屈な日程にもかかわらずいくつかの医療法人が進出を検討されているとの事。平成28年4月の開業に向け、期待は膨らむばかりです(^^)

女性の健康長寿の理由？！

過日、私の後援会幹部の皆さんを対象とした研修会を開催し、講師に夏の参院選に自民党から出馬を予定している前日本歯科医師連盟理事長の「島村 大」さんをお招きいたしました。歯科医師連盟とは、歯科医師会を代表して政府・与党と交渉を行う重要な団体で、当日は【歯科医師の立場から見た健康長寿】というテーマで講演を頂きました。

島村さんからは

「健康長寿に大切なのは『口を動かす事』。噛む事に関して申し上げれば、30回ほど噛む事が大切ですが、30回噛むのは大変な事ですから、しゃべる事でも結構です。事実、女性の健康長寿の秘訣は良くおしゃべりをされるからです(笑)。」

「上あごと下あご。特に大切なのは下あごの歯です。皆さんが入れ歯を作る際、下あごの入れ歯を上手に作る事の出来る良い歯科医師を見つけるのが大切とも言われています。」

などのアドバイスを頂きました。

そして、ご自身が政界にチャレンジする理由について「我が国の『国民皆保険制度』は世界に冠たる制度。しかし、少子高齢化社会と言われる現在、この制度を将来に亘り継続するためには、これ以上改革を先送り出来ません。是非とも力を貸して頂きたい！」とのお言葉を頂戴しました。